

就業者の従業地等について

(資料 1) 就業者の従業地 平成 12 年→平成 22 年比較

- ・就業者数自体が、H12 から H22 の 10 年間で、46,340 人→39,730 人と△6,610 人 (△14.3%) と大きく減少している。減少の内訳のほとんどが、香取市内での従業の減少であることから、市内の雇用が大きく減少していることがうかがえる。
- ・他市町村への就業では、成田市 (5,029 人) が特出して多く、次いで神栖市 (1,918 人)、鹿嶋市 (1,159 人) の順になっている。
- ・成田市と神栖市への就業者は増加傾向にあるが、鹿嶋市への就業者は減少している。

(資料 2、資料 2-2) 就業者の常住地と従業地の状況

- ・他市町村への就業者は 15,990 人、他市町村からの就業者は 8,476 人であり、就業に関し、流出の方が流入より多い。
- ・香取市への他市町村からの就業者は、旭市 (1,165 人)、成田市 (1,037 人)、東庄町 (910 人) の順になっている。
- ・県内近隣市で就業に関し、流出より流入が上回っているのは成田市のみ。

(資料 3) 就業者の従業地 旭市との比較

- ・旭市と比較し、他市町村での従業 (市外従事) の割合が高い。

(資料 4) 就業者の業種 旭市との比較

- ・就業者の業種は、卸売・小売業 6,510 人、製造業 5,621 人、農業 4,766 人の順であり、旭市と比較し製造業の市外従事の割合が高い。

(資料1)

就業者の従業地 平成12年→平成22年比較(国勢調査より)

	H12	H22	H12→H22
就業者数(人)	46,340	39,730	85.7%
うち香取市内で従業	30,076	23,520	78.2%
うち他市町村で従業	16,264	15,990	98.3%

○市町村別		H12	H22	H12→H22
1	成田市	4,853	5,029	103.6%
2	神栖市	1,822	1,918	105.3%
3	鹿嶋市	1,550	1,159	74.8%
4	稲敷市	889	840	94.5%
5	旭市	807	820	101.6%
6	千葉市	943	746	79.1%
7	多古町	538	632	117.5%
8	東庄町	453	478	105.5%
9	銚子市	548	445	81.2%
10	神崎町	423	431	101.9%
11	潮来市	550	406	73.8%
12	匝瑳市	390	343	87.9%
13	東京都	378	327	86.5%
14	富里市	236	264	111.9%
15	佐倉市	303	247	81.5%
16	芝山町	119	201	168.9%
17	行方市	96	112	116.7%
18	船橋市	93	81	87.1%
19	印西市	57	76	133.3%
20	横芝光町	46	66	143.5%

※比較がしやすいように平成12年の数値も合併後の市町で比較しています。